

## 令和8年度北海道地区学会優秀発表受賞者決定のお知らせ

今年度の獣医学術北海道地区学会は酪農学園大学において、獣医公衆衛生学会は8月27日に、産業動物獣医学会と小動物獣医学会は8月27日と28日の2日間にわたり開催されました。発表演題は産業動物76題、小動物21題、獣医公衆衛生13題の合計110題でした。各地区学会終了後に審査会が開催され、発表内容および質疑応答などが慎重に審議されました。厳正な審査の結果、北海道地区学会長賞、北海道獣医師会長賞および優秀な発表内容の学生を褒賞する奨励賞について、次のとおり選出されましたのでお知らせします。

### 1. 日本産業動物獣医学会（北海道）

#### 1) 北海道地区学会長賞

◎演題番号 36：

「軽症の黒毛和種子牛下痢症における診療回数および重症化に影響する因子の検討」

○川口裕史

NOSAI・長万部家畜診療所

◎演題番号 59：

「繁殖雌馬の結腸捻転に対する2種類の結腸固定術式の比較検討」

○田上正幸<sup>1)</sup> 加藤史樹<sup>1)</sup> 鈴木 吏<sup>1)</sup> 山家崇史<sup>1)</sup> 関 希実<sup>1)</sup> 宮下恵里<sup>1)</sup>

坂本有弥<sup>1)</sup> 松本美宇<sup>1)</sup> 田上正明<sup>1、2)</sup>

1) 社台ホースクリニック 2) 帯畜大臨床獣医学

◎演題番号 68：

「外科的治療により歩行異常の改善を認めた多趾症のホルスタイン種子牛の1症例」

○前田麻友子<sup>1)</sup> 後藤忠広<sup>2)</sup> 水口悠也<sup>3)</sup> 宮越大輔<sup>3)</sup> 松岡 修<sup>4)</sup>

1) NOSAI・日高中部家畜診療所 2) NOSAI・獣医療研修センター 3) NOSAI・家畜高度医療センター 4) NOSAI・日高西部家畜診療所

◎演題番号 69：

「後天的に発症した肢軸異常に対しSingle Screw法により治療した黒毛和種育成牛の1症例」

○後藤忠広<sup>1)</sup> 村上高志<sup>1)</sup> 上野大作<sup>1)</sup> 川口正人<sup>1)</sup> 小倉大紀<sup>2)</sup> 塚田康祐<sup>1)</sup>

伊藤純一<sup>3)</sup> 秋吉珠早<sup>1)</sup> 加藤真銘<sup>1)</sup> 山本康朗<sup>1)</sup>

1) NOSAI・獣医療研修センター 2) NOSAI・南空知家畜診療所 3) 空知獣医師会

#### 2) 北海道獣医師会長賞

◎演題番号 43：

「牛の腹部ピング音周波数解析による病態診断への有用性検討」

○北原美里<sup>1)</sup> 伊藤めぐみ<sup>2)</sup> 猪熊 壽<sup>3)</sup> 前澤誠希<sup>3)</sup> 松田祥弘<sup>4)</sup>

1) NOSAI・上士幌家畜診療所 2) 帯畜大臨床獣医学 3) 東京大産業動物臨床学

4) アニモ

◎演題番号 58 :

「帯広競馬場における初めての馬インフルエンザ発生事例の報告」

○福本奈津子<sup>1)</sup> 柴田真琴<sup>1)</sup> 林 真優<sup>1)</sup> 川内京子<sup>2)</sup> 藪内雪香<sup>2)</sup> 尾宇江康啓<sup>2)</sup>  
松山亮太<sup>3)</sup> 山本健久<sup>3)</sup> 三田宇宙<sup>4)</sup> 川西奈那子<sup>4)</sup> 坂内 天<sup>4)</sup> 辻村行司<sup>4)</sup>  
山中隆史<sup>4)</sup> 根本 学<sup>4)</sup>

1) アテナ統合獣医ケア 2) 十勝家保 3) 農研機構動衛研 4) JRA 競走馬総合研究所

### 3) 奨励賞

◎演題番号 29 :

「ウェアラブル心電計を用いた乳牛の低カルシウム血症予測システムの有効性評価」

○玉置大介<sup>1)</sup> 辰巳奈央<sup>1)</sup> 泉 巖<sup>2)</sup> 川崎佑太<sup>2)</sup> 伊藤めぐみ<sup>1)</sup>

1) 帯畜大臨床獣医学 2) 道総研工業試験場

◎演題番号 65 :

「若齢子牛に発生した卵巣黄体腫 (luteoma) の 1 例: 組織学的・免疫組織化学的検討」

○品田のどか<sup>1)</sup> 柳 充紘<sup>2)</sup> 松田一哉<sup>1)</sup> 佐野悠人<sup>1)</sup>

1) 酪農大感染・病理学 2) NOSAI・湧別家畜診療所

## 2. 日本小動物獣医学会 (北海道)

### 1) 北海道地区学会長賞

◎演題番号 7 :

「経胸壁 Shear Wave Elastography による犬の肺炎と肺腫瘍の鑑別」

○川上侑記<sup>1)</sup> 中村健介<sup>2)</sup> 細谷謙次<sup>1、3)</sup> 金 尚昊<sup>1、3)</sup> 木之下怜平<sup>1)</sup>

竹内恭介<sup>1\*)</sup> 新坊弦也<sup>1)</sup> 笹岡一慶<sup>1)</sup> 塩原 希<sup>1)</sup> 安田理紗<sup>2)</sup> 横山 望<sup>2)</sup>

滝口満喜<sup>2)</sup>

1) 北大附属動物病院 2) 北大獣医内科学 3) 北大先端獣医療学 \*現所属: ペテモ  
どうぶつ医療センター札幌月寒

◎演題番号 18 :

「重複尿道に対し外陰部形成術を実施した雌犬 1 症例」

○王 馨晨 山本集士 酒井俊和 大田 寛 鳥巢至道

酪農大伴侶動物医療学

### 2) 北海道獣医師会会長賞

◎演題番号 3 :

「犬の先天性門脈体循環シャントにおける CT 検査の優先度判断指標としての血漿 BTR の有用性」

○田村昌大 川端麻希 原田大輝 酒井俊和 山本集士 濱本裕仁 酒谷 篤

出口辰弥 鳥巢至道 大田 寛

酪農大伴侶動物医療学

◎演題番号 5 :

「特発性肺動脈性肺高血圧症が疑われた犬における臨床的特徴および予後因子の検討」

○塩原 希<sup>1)</sup> 中村健介<sup>2)</sup> 川元 誠<sup>1)</sup> 大菅辰幸<sup>3)</sup> 新坊弦也<sup>2)</sup> 川上侑記<sup>1)</sup>  
滝口満喜<sup>2)</sup>

1) 北大附属動物病院 2) 北大獣医内科学 3) 宮崎大獣医内科学

**3) 奨励賞**

◎演題番号 14 :

「犬の前十字靱帯断裂に対する TPL0 手術後の骨癒合に影響を与える因子の回顧的検討」

○春田千紘 須永隆文 大脇 稜 奥村正裕  
北大獣医外科学

◎演題番号 16 :

「若齢犬の避妊手術時に偶発的に発見された先天性腹膜被包症疑いの 1 例」

○五味 樹<sup>1)</sup> 上村暁子<sup>1、2)</sup> 吉田智彦<sup>1、2)</sup> 桜井大地<sup>1、2)</sup> 山本めぐみ<sup>1)</sup>  
貴田明日実<sup>1)</sup> 吉田希央<sup>2)</sup> 渡邊謙一<sup>2)</sup> 山田 学<sup>2)</sup> 古林与志安<sup>2)</sup>

1) 帯畜大動物医療センター 2) 帯畜大臨床獣医学

**3. 日本獣医公衆衛生学会（北海道）**

**1) 北海道地区学会長賞**

◎演題番号 12 :

「と畜場搬入豚における筋および骨膿瘍の原因菌調査について」

○大原早帆<sup>1)</sup> 古崎洋司<sup>1)</sup> 落合崇浩<sup>2)</sup> 高橋 諒<sup>2)</sup> 大久保和洋<sup>2)</sup> 大野祐太<sup>2)</sup>  
1) 日高食肉衛検 2) 道衛研

**2) 北海道獣医師会会長賞**

◎演題番号 7 :

「傷病収容データから見える高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）の新たな局面：2025～2026 年シーズンの分析」

○渡辺有希子<sup>1)</sup> 安達 光<sup>1)</sup> 日尾野隆大<sup>2、3)</sup> 直 亨則<sup>3)</sup> 磯田典和<sup>2、3)</sup>  
迫田義博<sup>2、3)</sup> 大沼 学<sup>4)</sup> 齊藤慶輔<sup>1)</sup>

1) 猛禽類医学研究所 2) 北大 One Health リサーチセンター 3) 北大微生物学  
4) 国立環境研究所

**3) 奨励賞**

◎演題番号 10 :

「市販冷凍輸入エビの薬剤耐性菌を含む細菌汚染実態の解明」

○落合勇斗 福田 昭 臼井 優  
酪農大予防獣医学